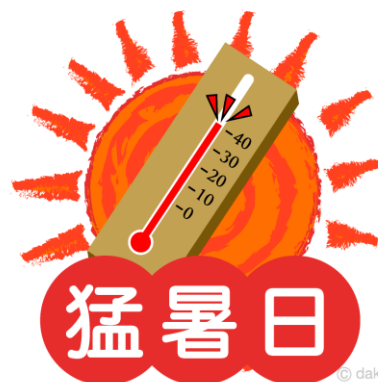




暑さに翻弄された8月から9月

北海道の夏は暑くても爽やか。そして、8月もお盆を過ぎると暑さも落ち着いて、秋の気配さえ感じながら過ぎゆく夏を惜しむ…などといった感覚はどこへやら。夏休みが明けても記録的な暑さに、道内各地の学校が臨時休校や授業カットを強いられました。上富良野高校も職員室に設置された熱中症指数モニターが連日「嚴重警戒」レベルを示し、最も暑かった8月23日（水）から25日（金）は給食も中止。モニターがついに「危険」レベルを示した8月24日（木）は午前授業で放課となりました。各教室には簡易冷房装置も設置しているのですが、教室の大きさには対応できず、おまけに消費電力の大きさから教室のブレーカーが落ちるトラブルまで発生しました。そんな暑さのなごりは9月半ばまで続き、本当に秋が来るのかとさえ思いましたが、前期終了を目前に秋の空気がやってきて、この時期らしい朝晩の気温になってきました。前庭のナナカマドも日に日に色づいています。

そして、3年生はいよいよ進路に向けた活動が本格化。社会を意識しだすとともに顔つきも風格も一段と大人びてきた気がします。それぞれの生徒が希望する進路をかなえられるよう、進路指導部を中心に熱心な指導が行われています。また、2年生は10月末に高校生活の最大行事でもある見学旅行があります。生徒は胸躍らせながら思い思いの研修計画をたてています。それに比べると1年生はこの時期に大きな行事がないのですが、すっかり高校生活も板につき、自分なりの生活スタイルを確立してきたと思います。北海道の秋も今年は特に短そうですが、何をするにもいい季節。勉強、スポーツ、読書そして食欲とぜひ「秋」を満喫してもらいたいと思います。



行事予定表

2日（月）	学期間休業
3日（火）	後期始業式・身だしなみ点検
18日（水）	基礎力診断テスト・作文テスト（1・2年）
20日（金）	避難訓練
24日（火）	見学旅行（2年生）
～27日（金）	

新・生徒会誕生

9月26日(火)に立会演説会、役員選挙が行われ、10月3日(火)の認証式を経て、新・生徒会が誕生しました。今年は新型コロナウイルス5類移行に伴い、様々な学校行事が以前実施していた状態に近づきつつありました。とはいえ、現在の3年生が入学した際にはすでにコロナ禍だったわけですから、生徒全員が全く未経験の状態です。だからこそ、従来の形にとらわれず、過去の企画をもとにした新しいものを作ることになった旧生徒会のメンバーの苦労は想像以上だったことと思います。本当にお疲れ様でした。

そして、そのエネルギーを受け継ぎつつ新しいメンバーを迎えてスタートした新・生徒会。今後の活躍に期待します。

【新・生徒会役員】

会 長	2年A組	野間井	純花
副 会 長	2年A組	宮尾	月
書 記	1年A組	松居	椿
会 計	1年A組	牛島	蓮温
会計監査	1年A組	袴田	優里那



「介護職員初任者研修」修了

今年も上富良野町の支援を受けて、介護職員初任者研修を実施しました。今年は10名の生徒が夏季休業やその後の土日も返上して研修に参加しました。最後は、全員が修了試験に合格して、9月11日(月)に木下校長先生から一人一人に修了証書が手渡されました。修了した生徒のみなさん、よく頑張りました。おめでとうございます。



中学生体験入学

9月22日（金）に近隣中学校の生徒及び、保護者の方を対象に体験入学を実施しました。全体説明では学校の概要や生徒会執行部による学校行事の説明を行い、その後実際の授業や施設の見学を行いました。全体説明の後には理科・商業・家庭科に分かれ、授業体験を行いました。理科では、ドライアイスで探究実験、商業ではビジネスマナーについて、家庭科では包丁を使わない調理実習を行いました。最後は部活動にも参加していただき、在校生と交流しながら本校にある部活動を体験してもらいました。小規模の学校ではありますが資格取得の検定料などで、上富良野町より手厚い支援をいただいています。また習熟度別の授業や探究活動を通し、生徒の自己実現に向けた指導を行っています。体験入学に参加いただいた中学生及び保護者の皆様、ありがとうございました。来年度、再び上富良野高校で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

《中学生の感想から》（抜粋）

- ・体験した授業も楽しくて、先輩方もとても優しくかったですごく良い時間になりました。
- ・上富良野高校は人数が少ないけど、楽しい行事があって良いと思いました。
- ・他の高校とは違う魅力があって楽しそうだなって思った。
- ・きれいな学校でとても通いやすそうなイメージがわきました。先生もみんな面白そうで、先輩たちも笑顔いっぱい楽しそうでした。



今月の地域探究

【一年生】

7月に行われた「情報収集」プログラムをもとに8月は「課題仮説」プログラムを行い、実際に情報収集した内容から課題を見だし仮説を立てる方法について学びました。

そして、9月は最後のプログラムである「検証考察」プログラムとその発表会が行われました。「検証考察」プログラムは情報収集の際に資料にあった「ヌッカクシ富良野川には魚が住まない」という情報を元に、9月13日（水）にフィールドワークを行い、魚が生息しないヌッカクシ富良野川と魚が生息するベベルイ川の水質や水生生物を比較してその違いを調査し、そこからどのようなことが考えられるかを4つの班に分かれて考察しました。前日の雨の影響で川の状況はあまりよくありませんでしたが、どの班も積極的に調査を行いました。考察では分析に必要な基礎知識が無い中で、「なぜ、そのような結果になったのか」「そこからヌッカクシ富良野川には魚が生息しないという証拠が得られたかどうか」を班で考えました。

そして、10月3日（火）にそれぞれの班でまとめた結果をもとにスライドを作成し、発表を行いました。1年生にとっては初めての「発表」でしたが、質疑応答も含めて班で協力して立派に乗り切りました。

これで探究の基礎を学ぶ一連のプログラムが終了したので、いよいよ次は上富良野町の地域課題発見に向けて新しいプログラムが始まります。

